

2021年度（令和3年度）新入社員のタイプ

「仲間が恋しい ソロキャンプタイプ」

2021年3月26日

人事労務分野の情報機関である産労総合研究所（代表・平盛之）は、このたび「2021年度（令和3年度）新入社員のタイプ」を発表しました。これは、企業の人事担当者、大学のキャリアセンター担当者等から成る「新社会人の採用・育成研究会」が、当所調査の「2021年3月卒業予定者の採用・就職に関するアンケート」（調査結果は当所定期刊行誌『人事実務』5月号に掲載予定）、「2021年度 新規学卒者の採用活動に関する調査」（調査結果は当所定期刊行誌『企業と人材』5月号に掲載予定）や2021年度の採用・就職支援活動等を踏まえて、今年の新入社員の特徴と育成のヒントをまとめたものです。

新入社員のタイプ

「仲間が恋しい ソロキャンプタイプ」

今年の新入社員は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて状況が一変するなか、オンラインでつながりつつも、不安で孤独な就職活動を行うこととなった。初めてだらけのソロキャンプのように、まごつくことも多かったが、気持ちを切り替え、工夫し、たくましくなった。自由さ・気楽さという魅力に気づいた人もいる。しかし、一方で、仲間への恋しさも募っている。社会に出てからは、自分の時間も楽しみつつ、いろいろな人々と知りあい仲間づくりをしてほしい。先輩社会人も、彼ら・彼女らを働く仲間として受け入れ、積極的にフォローしてほしい。

【2021年度新入社員の就職活動の特徴と今後の育成のヒント】

🌸この春、大学を卒業した新入社員の就職活動は、経団連の「採用選考に関する指針」が廃止され、政府による日程ルールが提示される初年度であった。3年生夏頃からのインターンシップは、従来どおり実施されていたが、広報活動が始まる3年生の2月以降は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の時期と重なり、その影響を大きく受けることになった。就職内定状況の数値をみると、89.5%（2月1日現在）となっており、過去と比べるとそれほど悪い数値ではないが、希望業種の変更など内実は厳しかったのではないかとと思われる。

🌸2020年2月頃より、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、就職イベント、選考が中止・延期となり、オンラインでの選考に切り替える企業が増加した。2020年春までに実質的な就職活動を終えていた学生にはあまり影響がなかったが、大多数の学生は、準備期間なく、就職イベント、選考（説明会、試験、面接等）のスケジュール変更、オンライン変更への対応に直面することになった。募集数の減少により志望業界の変更を迫られた学生もいた。

大学キャンパスでも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン授業に切り替える大学、構内への出入りや課外活動を制限する大学が増え、同級生や教員、就職支援職員と対面で会う機会が激減した。

このように、前年と様相が一変し、先行き不透明な就職活動に直面するなかで、学生たちは、不安にとられ、孤独・孤立を感じるようになった。モチベーションを維持することが難しく、なかには、就職活動を中断、休止する学生もみられた。一方、気持ちを切り替えて、オンライン面接に積極的にトライし、次第に慣れ、どのようにアピールするか工夫を重ねていった学生も多くみられた。ここ数年の傾向であった就職活動への取組みの二極化が、さらに顕著になったといえる。

2021年度（令和3年度）新入社員のタイプ

🌸 こうした就職活動を経て入社日を迎えるに至った新入社員は、この選択で良かったのか確信を持っていない可能性がある。さらに、例年、就職活動を行う過程で学んでいた社会のルールを、オンラインによる就職活動のために身に付けられていない新入社員も多そうだ。

入社後は、まずは、お互いにギャップがあることを踏まえたうえで、理解を深め、信頼関係を築いていきたい。例年より丁寧な導入教育が必要となろう。改めて一人ひとりをみつめ、活躍の場を作っていきたい。

【参考:これまでの新社会人のタイプ】

年度	タイプ	特徴
2020年度 (令和2年度)	結果が出せる?! 厚底シューズタイプ	衝撃を吸収し身体に優しいということで以前から話題になっていた厚底シューズ。今や、最新テクノロジーを組み込み、ノウハウの蓄積によって、駅伝やマラソン等の記録を更新し、世界的に期待・注目を集めている。これは、ITの進展と共に育ち、先輩たちのノウハウをうまく活かして就活を乗り切った今年の新入社員の姿と重なる。良い結果を生み出すには、走法を変更する等（コミュニケーション・指導や働き方の変更等）準備や調整が必要。
2019年度 (令和元年度)	呼びかけ次第の AIスピーカータイプ	注目のAIスピーカー（引き続きの売り手市場）。多機能だが、機能を十分に発揮させるためには細かい設定（丁寧な育成）や別の補助装置（環境整備）が必要。最初の呼びかけが気恥ずかしいが（オーケー!とか）、それなしには何も始まらない。多くの新入社員はAIにはできない仕事にチャレンジしたいと考えていることをお忘れなく。
2018年度 (平成30年度)	SNSを駆使する チームパシュートタイプ	オリンピックで金メダルを獲得した女子チームパシュート。3人が順序を入れ換えながらリンクを疾走する姿が記憶に残る。今春の新入社員は、ここ数年続く売り手市場傾向を追い風にスピーディーに就職活動を終えることができた。ひとりの就職「氷」河期とは様変わりである。とはいうものの、学生にとって就活は学生時代の一大事業であることに変わりはない。少数の仲間同士でSNSを活用し、綿密な情報交換で協力関係を構築し、内定というゴールをめざした。就活は短期決戦だったが、入社すればおよそ40年もの長期戦である。自分なりのテーマをもって仕事をする努力を怠れば周回遅れも。



本件に関する
問い合わせ先

㈱産労総合研究所 「新社会人の採用・育成研究会」事務局

担当：白ヶ澤、片上、酒井、重山

〒110-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル3F

■ 電話 03(5860)9779 ■ e-mail: freshers@sanro.co.jp ■ <https://www.e-sanro.net>

※引用いただく際には、出典をご明記ください。